

令和6年度 学校評価（教職員）集計シート【2学期】

項 目	
1	あなたは、児童を「明るく、心豊かな子」に育てていますか。
2	あなたは、児童を「自ら学び、よく考える子」に育てていますか。
3	あなたは、児童を「健康で主体的に取り組む子」に育てていますか。
4	あなたは、児童を「あいさつのできる子」に育てていますか。
5	あなたは、児童が「毎日、楽しく登校できる環境」を整えていますか。
6	あなたは、保護者や地域に授業や学校行事等の様子を学校・学級だよりやHP等で伝えていますか。
7	あなたは、子どもの悩みに気軽に相談できる準備を整えていますか。
8	あなたは、いじめのない学級・学校づくりに努めていますか。
9	あなたは、わかる授業づくりに努めていますか。
10	あなたは、自分の管理分担を安全な教育環境に整えていますか。

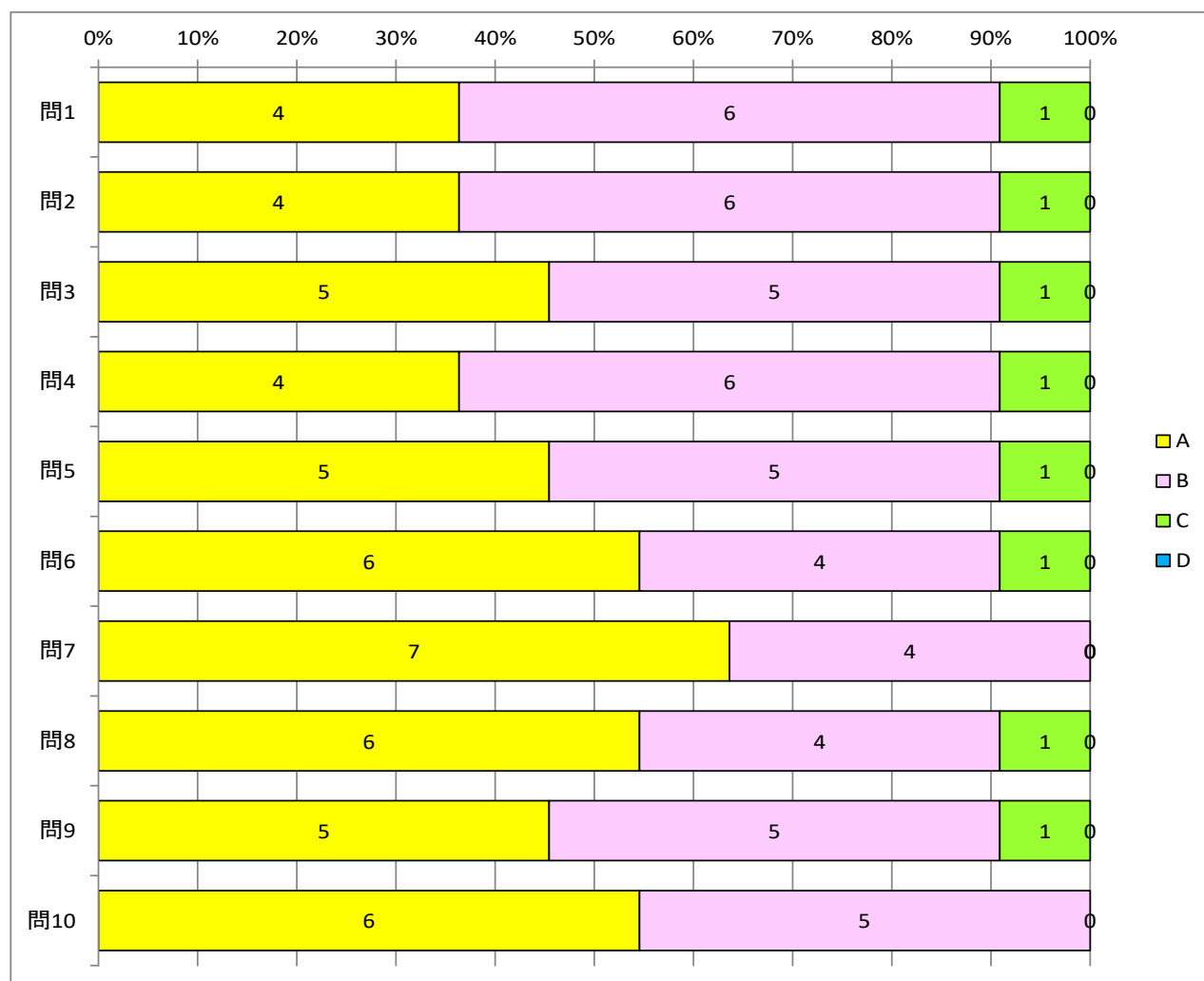
・ 評 価

A…そう思う

C…あまりそう思わない

B…ややそう思う

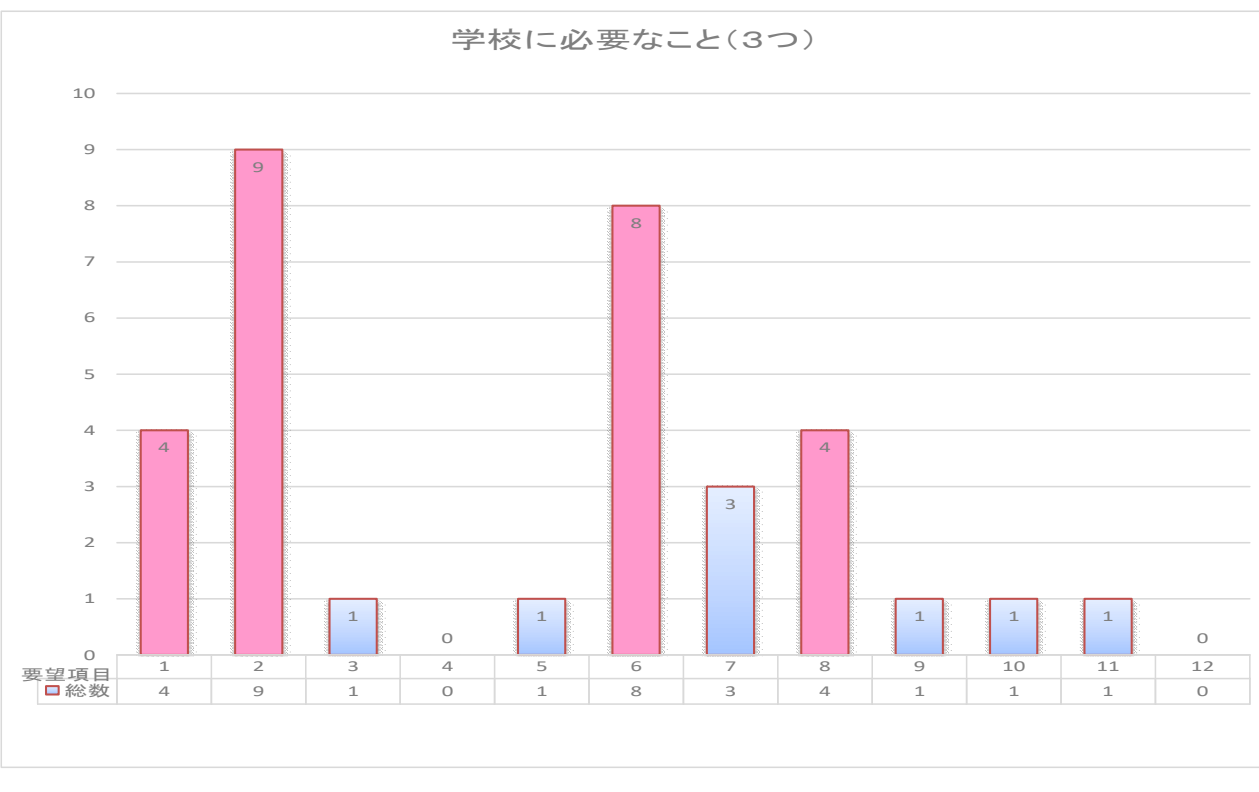
D…そう思わない



※グラフ中の数字は回答者の人数を表しています。

◎学校に必要（今年度中に取り組むべきこと）なことを重要度が高い順に3つ回答する。

①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育の充実 ③体力向上の推進 ④学校行事の充実
 ⑤体験活動の充実 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上
 ⑧特別支援教育の充実 ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり（情報提供の機会や
 連携事業、人材活用等）の推進 ⑪施設・設備の充実 ⑫その他



※グラフ中の数字は回答数を表しています。

【教職員のアンケート 考察】

すべての項目において概ね肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）を得ている。しかし「そう思う」の回答率が40%を下回った項目が3つ存在した。1つ目は①「明るく、心豊かな子」であった。これは2学期に入り、児童間の生徒指導上の課題が1学期よりも増えたため、教職員が危機感を抱いた結果と思われる。これから年度末に向け、学校全体で、いじめ対策や人権教育に重点的に取り組むこととした。2つ目は②「自ら学び、よく考える子」であり、これは1学期の結果と同様に教職員が授業等において「児童の主体的な学び」を引き出せず、最適な手立てや「理解力や定着度」を上げる指導法を模索しているためと思われる。引き続き、校内研修を充実させ、千葉県独自の授業プログラムである、『『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』を活用し授業改善を図りたい。3つ目も1学期同様に低かった④「あいさつのできる子」である。2学期は体育的行事時等では、大きな声であいさつや返事ができたが、日常生活においては、あいさつができない児童が多く見受けられた。3学期は、進級や卒業を意識させ、感謝の心を育て、あいさつの励行に努めたい。また、「学校に必要なこと」では、保護者と、ほぼ同様の項目が上位となった。上位3項目については、年度末に向けて学校全体で指導に取り組んでいきたい。